

コミュニティ ふたつ

私と人とまちの間に

2019.SEP
122号

9

編集発行

公益財団法人 草津市コミュニティ事業団

もくじ CONTENTS

FEATURE

私と家族のカレンダー

- 2 緑がつくる空間・時間・仲間 ガーデニングサークルグラッシー
- 3 時速4kmの風景 ～草津市体力づくり歩こう会～ スポーツ推進委員協議会
- 5 あなたの手帳、見せてくれませんか。 ～私と家族のカレンダー～
- 8 ご近所まんが くさつがわ家とお隣さん ～これって、みんなの問題～
- 9 より道こ道 「鞭寄八幡宮から矢橋港跡へ」
- 10 事業団からのお知らせ／まち語り 一枚の写真
- 11 見つけてスッキリ！／事業団からのお知らせ
- 12 熊谷栄三郎の徒然草津 第34回 どこへ行った草津弁
ボイス

よ～いしょ、よ～いしょ

綱を握る手に力が入る。よ～いしょ、よ～いしょ。かけ声とともにチームの息が合っていく。一本の綱を挟んで競うのは力ではなくチーム力。シンプルで奥深い競技に、応援にも熱がこもります。

稲が実り垂れ下がるころ、田んぼからは水が抜かれ、いよいよ稲刈りです。このころを七十二候では「水始めてかるる」（水始涸）というとか。透き通るようなつやつやの新米をいただく実りの季節。田畑の恵みに感謝し、田の神様へのお供えを終え、田の神は山へと帰っていきます。

2019 SEP
122号

9

お帰りなさい。お疲れさまでした。今日も一日、仕事を頑張ったあなたは今ごろ思っているかもしれません、「定年後はゆっくりしたいな」と。

一方で、定年を迎えた人の中には、やりがいや自分の時間を上手く見つけられずに困っている人も少なくないようです。

あなたの“これから”は長い。

あなたらしい充実した“これから”づくり。今から始めませんか。

草津市ガーデニングサークル

grassy
グラッシー

緑がつくる空間・時間・仲間

草津市ガーデニングサークル グラッシー

沢尾誠良さん(68歳)

何気なく目にした草花から季節の移ろいを知り、ふと立ち止まる。そんな経験はありませんか。家の庭で、いつもの道で、まちの公園で…。気ぜわしい日々の中でも、植物たちはちゃんと自然のリズムを刻み、季節を教えてくれます。そんな花や緑に癒されたり、ホッとしたり。私たちみんなの庭である公園や公共空間で、心を込めて緑の手入れをしてくれる人たちがいます。さあ、緑がつくる空間・時間・仲間の話をしましょう。

まちの緑の手入れ

「これドライフラワーにできる?」「この花はもう切った方がいい?」

休むことなく動き続ける手と賑やかに弾む会話の主はガーデニングサークル「グラッシー」の面々。2012年に市主催のガーデニング講座の参加者が「草津を花と緑いっぱいのもち、ガーデシティに」と立ち上げました。今では退職世代を中心に40〜70代の約180人が登録しています。主な活動は、ニワタス(草津駅前)、陽だまりガーデン(南草津駅東山道記念公園)、de愛ひろば(草津川跡地公園)の3か所で、木々を維持し美しい花を咲かせること。つまり、「まちの緑の手入れ」ってわけですね。

「週をかえて3か所をまわるので、それぞれ月に1回の活動に



家の庭と違って気が減入ってしまうくらいの広さ。ムリせず、互いに教え

沢尾誠良さん



初代0系新幹線と美しい桜並木

新緑メタセコイア並木を歩こう!

酒造の町、伏見を歩く

時速4kmの風景

草津市体力づくり歩こう会

上のタイトルをみてください。どうです、出かけたくなりませんか。ちなみに旅行会社の商品ではありません。これは「草津市体力づくり歩こう会」の各回のタイトル、なんとも魅力的です。月に二回の開催ながら、毎回約70名の参加がある「歩こう会」。この人気、どうも理由がありそうです。

まず、自分が楽しむ

朝夕、ウォーキングしている人をよく見かけます。手軽に生活習慣として取り入れやすい運動

としても人気があるようです。そんなウォーキングの代名詞ともいえる「歩こう会」。「草津市体力づくり歩こう会」の始まりは、昭和43年というから驚きです。50

年以上も毎月毎月歩き続け、昨年は通算600回を迎えました。その人気を支える理由の一つがコースの設定。市内を歩くだけでなく、草津を帰るに市外や県外

にも出向き、その地の景勝や歴史文化に触れることができるのも歩こう会の魅力です。「コースはスタッフ一人ひとりが企画を持ち寄って決めていま



合ったり、情報交換したり、楽しく作業するのがグラッシー流です。

誰にでも出番がある

まちの公園といっても、決して完成された場所ばかりではない

ようです。時には土木作業に近いこともするとか。「メンバーは女性が多いのですが、男性の出番も結構あります。自分のハサミや電ノコを持って来てくれる人もいます。かん水ホースの配設や修理が得意な男性もいます。誰彼となく自分ができることを自然にしています」

ガーデニングという草花を育てるイメージが大きいですが、意外と力や技術が必要な場面もあります。誰もが自分のできることで関わる、逆に言うとな誰にでも出番があるというのもガーデニングの魅力かもしれません。

まちと自分の間に

実は沢尾さん自身も定年後にガーデニングを始めた一人。「定年後はゴルフ・海外旅行・飲み会…と気ままな時間を楽しんでいました。でもね、そんな暮らしも3か月すれば後ろめたくなってきました。何か恩返しをしたい、貢献した

いと思い始めた矢先に、ガーデニング講座があったんです」今では自宅でもバラやハーブを育てる立派なガーデナーです。グラッシーのメンバーも、バラを見に訪れ、ハーブティーを楽しむ交流もあるとか。

「毎日庭をいじっているとね、近所の女子高生が挨拶してくれるようになりました。ガーデニングを始めていなかったらグラッシーの仲間にも出会えませんでした。なかには草津に引越してきた誰も知り合いがいなかったからと仲間づくりとして参加した人もいます。花や緑といった共通の話題が

あることで、人やまちとつながっていいことを活動から実感しています。私だけじゃないと思いますよ。メンバーはみんな、自宅や地元でもガーデニングを楽しみながら、グラッシーにも参加します。それぞれが得た経験や情報を自宅とまちの公園で活かしあったり、仲間同士でコミュニケーションをとって



作業中、道ゆく人から「きれいですね」「いつもありがとう」と声をかけられるときがあるそうです。そんなときが何より嬉しいし、やりがいを感じるとか。

まちなかの花や緑が美しいと、自然と歩き出したいくなります。自分の趣味がまちにも活かされることで喜びや生活の張りが幾重にも大きくなること、人と共通の話題を持つことが定年後も生き生きと過ごす方法の一つとなることをグラッシーの活動から垣間見ました。

さあ、あなたもご自分の種を撒いてみませんか。

草津市スポーツ推進委員協議会

嘉悦和子さん(69歳)

横江良之さん(60歳)



す。季節に合わせて自分が行ってみたいところを提案する人もいれば、大河ドラマゆかりの地など流行りや話題性を取り入れたもの、琵琶湖一周・中山道踏破など数回に分けたシリーズものもあります。まずはスタッフ自身も参加者として楽しめるかどうかという視点を大切にしています」と横江さん。単調になりやすい運動だけに、「楽しめる視点」が大切なんですね。

楽しみの影に

企画は楽しくても、70人が歩くとなると大変。コースの下見は欠かせません。たとえばトイレ。1時間ごとにトイレ休憩が必要ですが、そう都合よく公衆トイレはありません。コンビニやスーパー、時にはお寺や神社などにも事前をお願いしておきます。

また食事をとる場所、急な雨や強い日差しをしのげる場所も探しておきます。地図や時刻表だけではわからないこともあるので、本番と同じ時間に動き、電車の乗り継ぎや危険箇所、実際に要する時間の確認なんかも欠かせません。時には下見の下見まであるとか。

時速4kmの風景

もちろん、本番の運営も細心の注意を払います。当日は15人ほどのスタッフでサポートします。歩くペースも体力も異なる人が70人も集まると、列が長くなりがちです。中には歩きの早い人や、写真を撮ることに熱中して遅れがちの人もいますが、先導するスタッフのペースは時速4kmにしています。

「歩こう会は体を動かすだけ

でなく、仲間づくりも大切に思っています。参加者同士がおしゃべりしながら歩いて、息が切れないペースを心がけています」。安全に楽しく歩ける裏側には、こんなところにまで心配りがあつたんですね。ここにも人気の秘訣がありました。

事業廃止、そして復活。

今や大人気の歩こう会ですが、50年という長い歴史の中には危機もありました。元々、歩こう会は市の主催事業で、草津市スポーツ推進委員協議会が運営するスタイルでした。

ところが平成21年の事業仕分けで廃止が決まったのです。すると思いがけない声が上がりました。「継続してください」。

声の主はこれまでの参加者たちでした。

「市ができないのなら自分たちで…」3か月後、歩こう会は協議会の自主事業として復活したのです。自分たちで事務をするためにパソコンを購入。また保険代などの必要経費を捻出するため、参加者から参加費を負担してもらったの船出でした。「苦労はありましたが、メンバー一人ひとりの自覚が芽生えるようにも

なりました。それまで意見だけを言う人もいましたが、今ではみんなが実際に行動するようになったのです。市も知らん顔でなく、サポートにまわってくれています。雨降って地固まるですね」と、嘉悦さんは振り返ります。

「歩こう会は月に一回。参加者の中には次回の歩こう会に向けて、日ごろから歩いている人もいます。歩こう会が日ごろの運動の習慣づけにもなっているのでしょう。歩くという動作は運動の基本。誰もが無理なく自分のペースでできる健康づくりです。でも、単調な運動だけに一人で続けるよりも、仲間をつくって一緒に楽しくするのが理想ですね」と嘉悦さん。そんな健康づくり、仲間づくり、そしてあなたの時間の使い方に「歩こう会」という選択肢もあります。

秋風 あるいても あるいても (山頭火)

旅の俳人が感じた秋風を、あなたも歩いて探してみませんか。




横江良之さん

嘉悦和子さん



●自分の時間 ●家族の時間 ●まちの時間

日	月	火	水	木	金	土
						1 ●地域イベント (ホタルまつり)
2 ●グラウンド ゴルフ	3 ●家族で温泉	4 ●百歳体操 ●学童保育	5 ●知人と会う ●図書館 ●なごみの郷 ●買い物	6 ●買い物	7 ●百歳体操 ●学童保育	8 ●公園草刈り ●なごみの郷 ●買い物
9 ●体操 ●買い物(京都)	10 ●学童保育	11 ●バス旅行 (家族親戚)	12 ●高齢者サロン (ボランティア) ●なごみの郷	13 ●チラシ配布 バイト ●学童保育 ●資産運用 セミナー	14 ●百歳体操 ●梅酒づくり	15 ●退職者の会 ●梅酒づくり
16 ●コンサート	17 ●グラウンド ゴルフ ●学童保育	18 ●なごみの郷	19 ●買い物 ●退職者OB会 (退職者訪問)	20 ●買い物 ●学童保育	21 ●図書館 ●買い物 ●なごみの郷	22 ●競馬の会
23 ●地域清掃 ●新設公共施設 見学会	24 ●グラウンド ゴルフ	25 ●チラシ配布 バイト	26 ●モニターの バイト	27 ●買い物 ●学童保育	28 ●百歳体操 ●なごみの郷	29 ●チラシ配布 バイト ●なごみの郷
30 ●町内役員OB会 (ピアガーデン)	※毎朝ラジオ体操の会					



私の朝は早いんです。ご近所さんをつくるラジオ体操の会に始まり、その後は子どもたちの登下校を見守るスクールガードが日課です。毎日の活動があることで生活のリズムができています。

今でこそ充実した時間を過ごしている私ですが、ちょっと前は違いました。というのも、現役のころはモーレツな仕事人間で家には寝に帰るだけ。もちろん近所のことは何も知らないし、これといった趣味も持っていません。正直、定年になった数年は何もすることがなく、本当に困りました。

そんな時、民生委員を頼まれたんです。地域の実情を知り衝撃を受けました。「地域こそつながりが大事」と感じて積極的に地域の活動に参加し、知り合いを増やしましたよ。

それに私のように「地域と疎遠だった人でも関わりやすい活動があれば」と思い、今でも地域の中での居場所づくりに励んでいます。またシルバー人材センターから依頼され



Mさん(74才男性)
元 通信会社
妻との二人暮らし

自分の時間

- 百歳体操・グラウンドゴルフ・ラジオ体操の会

家族の時間

- 旅行・買い物・なごみの郷(入浴とおしゃべり)

まちの時間

- 民生委員・学童保育・スクールガード

る様々な「ちょっとした仕事」も楽しんでいきます。週に数回、なごみの郷で入浴し、帰りに妻と一緒にスーパーで買い物するのがもっかの楽しみ。

今夜も夫婦で乾杯です。

FEATURE

突然ですが

あなたの手帳、見せてくれませんか。

「私と家族のカレンダー」

定年後の時間の使い方。「そんなのまだ考えられないよ」なんて声が聞こえてきそうです。そこで、市内で定年後の生活を送る4人から手帳(カレンダー)を見せてもらいました。趣味、家族、学び、仕事、ボランティア、仲間づくり…。もちろん、一人ひとりが抱える状況も生活スタイルもそれぞれですが、そこには、自分や家族の変わりゆく状況と上手く折り合いをつけながらも、自分らしく充実した生活を送る姿がありました。



私のコツ

定期的な予定を

日課、曜日ごと、月ごとなど定期的な予定をつくり、生活にリズムをつける。

ちょっと仕事

ちょっとした仕事を取り入れ、社会との接点をもつ。

まず地元

地元の活動や催しに積極的に参加し、ご近所さんとのつながりをつくる。

●自分の時間 ●家族の時間 ●まちの時間

日	月	火	水	木	金	土
	1 ●ボランティア仲間と 打合せ	2 ●マジッククラブ	3 ●健康体操	4 ●ボランティア仲間と 打合せ	5 ●健康講座	6 ●ベングループ ●七夕まつり
7 ●観光ボランティア 秋のハイキング下見	8 ●夫の送迎(病院)	9 ●車の点検	10 ●健康体操 ●エッセイ執筆	11 ●夫の送迎(病院) ●エッセイ教室 ●源氏物語教室	12 ●自宅プリンターの 修理	13 ●買い物 (お見舞い返し)
14	15 ●交流館見学 ●買い物	16 ●マジッククラブ	17 ●健康体操 ●観光ボランティア 下見	18	19 ●読書会	20 ●歴史講座
21 ●墓参り	22 ●美容院	23 	24 ●健康体操	25 ●エッセイ教室 ●源氏物語教室	26 ●買い物	27 ●美術館 ●博物館
28 ●地域清掃	29 ●認知症予防体操	30	31 ●健康体操			

夫は転勤が頻繁だったので、子育て・姑の世話・度々の引っ越しなど本当に忙しい日々でした。生活が落ち着きだしたころ、歴史好きだった私は市の養成講座を受け、観光ボランティアガイドの活動を始めました。

また、子育て中にした新聞投稿をきっかけに、文章で自分を表現する楽しさに目覚め、ベングループにも入りました。夜や空いた時間はもっぱら歴史の調べものや書き物などに充てています。歴史講座など興味のある「学び」に積極的に参加して研鑽を積むのもわたし流の時間の使い方。最近、夫に病が見つかり、病院への送迎時間も生活の一部になりました。この歳になると色々なことが出てきますが、何事も前向きに取り組んでいます。



Iさん(73才女性)

専業主婦

夫との二人暮らし

自分の時間

- ベングループ・健康体操・源氏物語教室・エッセイ教室

家族の時間

- 夫の送迎

まちの時間

- 観光ボランティアガイド・マジッククラブ・地域活動


私のコツ

始めるなら、今

早いうちから様々な催しや活動に参加してみて、好きなこと、自分に合ったことを見つける。

ココロとカラダの健康

体を動かす。知的な好奇心を満たす。人とつながる活動を取り入れる。

日	月	火	水	木	金	土
						1 ●病院(認知症検査)
2 ●はたけ・庭 ●梅を漬ける	3 ●妻の送迎(病院) ●クリーニング ●おしゃべりボランティア ●はたけ・庭仕事	4 ●庭の害虫退治	5 ●妻の送迎(病院) ●洋菓子店 ●ご近所さんかららっきょう	6 ●らっきょう漬け ●庭の殺虫剤散布 ●玉ねぎつるし ●庭の剪定	7 ●妻のデイサービス ●暖房器具掃除 ●歯医者 ●買い物	8 ●妻の送迎(買物) ●洋菓子店
9 ●庭木の剪定 ●物置の整理	10 ●妻の送迎(病院)	11 ●妻の送迎(駅まで) ●歯医者 ●庭木の伐採	12 ●観音さんに 名水をもらいに行く ●神社お守り購入 ●はたけ・庭	13 ●はたけ・庭 ●息子にお守りを送る ●チラシ配布 バイト	14 ●妻のデイサービス ●チラシ配布 バイト ●歯医者	15 ●ニンニク漬け完成
16 ●チラシ配布 バイト	17 ●はたけ・庭	18 ●はたけ・庭 ●墓そうじ ●歯医者	19 ●妻の送迎(デパート) ●はたけ・庭	20 ●妻の送迎(美容院) ●洗車 ●はたけ・庭	21 ●妻のデイサービス ●はたけ・庭	22 ●はたけ・庭 ●孫から電話
23 ●町内清掃 ●はたけ・庭	24 ●妻の送迎(病院) ●ホームセンター ●はたけ・庭	25 ●歯医者	26 ●はたけ・庭 ●老人会(食事会)	27 ●妻の送迎(病院) ●歯医者	28 ●チラシ配布 バイト ●仏間そうじ	29 ●チラシ配布 バイト
30 ●郷土史ボランティア ●はたけ・庭						

●自分の時間 ●家族の時間 ●まちの時間



Kさん(81才男性)

元 証券マン

一人暮らし

(妻・死別のため)

自分の時間

- 料理教室・放送大学・美術館めぐり

家族の時間

- SNS(関東に暮らす息子への近況報告として)

まちの時間

- 町内会活動への参加

365日ネクタイを締めているような毎日でした。子育ても親の介護も妻に任せっきり。「定年後は苦勞かけばなしだった妻への孝行を」と考えていた矢先に妻を亡くしました。今でも悔やんでいます。葬儀後、心配した友人が電話をくれた時に言葉が出てこなかったことにショックを受けました。気がつ

けば誰とも会わず、誰とも話さない日が続いていたのです。「これでは自分がダメになる」と不安になり、料理教室や朗読ボランティアに参加して人とのつながりを自分から求めるようになりました。

知人の紹介で放送大学で学び始め、今9回生です。単位を取るための試験勉強は大変ですが、TVやネットで好きな時間に学べ、実際に大学の授業にも行ける形が自分の生活スタイルにマッチしています。学割も効くので好きな美術館めぐり

などにも重宝しています。そうそう、SNSを始めました。美術館に行ったらSNSにアップします。実は遠くに暮らす息子への近況報告も兼ねているんです。これからの人生、子どもたちには迷惑をかけたくないと思っています。目標は「死ぬまで元気であること」かな。

日	月	火	水	木	金	土
	1 ●放送大学 ●整骨院	2	3	4 ●美術館(京都)	5 ●耳鼻科	6 ●町内まつり
7 ●選挙	8 ●整骨院	9 ●愛犬のトリミング	10 ●図書館(放送大学の学習)	11	12	13
14 ●町内会総会	15 ●整骨院	16 ●ランチ会 ●図書館(放送大学の学習)	17	18	19 ●美術館(信楽)	20 ●料理教室
21	22 ●整骨院	23 ●美術館(兵庫)	24 ●図書館(放送大学の学習)	25 ●自宅水回り修理	26	27 ●文化財特別拝観(京都)
28 ●宿場まつり	29	30 ●整骨院	●自分の時間	●家族の時間	●まちの時間	



幅広くつながる

近況報告など自分から情報発信しながら、色々なつながり方ももつ。手紙・電話・メール・SNSなど、自分に合った方法で幅広く。

制度を活用

優遇や割引など、自分に合った社会サービスや公的な制度を知って上手に活用する。

海外出張も多かった現役時代。退職前に妻の実家の近くに居を構え20年が経ちました。古くからのつながりが色濃い地域で、冠婚葬祭・老人会・趣味の会・ボランティア活動など積極的に出かけ、多くの地元の方々とは親しくなりました。

老人会に入り、地元の歴史に詳しい高齢者と話すうちに、地元の歴史研究にハマりました。孫が来たときに聞かせたくて、地元の歴史を題材にした物語も創ったりして。

今の時間の中心は畑と妻の送迎。近所には農業の達人も多く、アドバイスをもらえるのも助かります。妻の通院や買い物などは私が車で送迎です。高齢者ドライバーの事故がニュースで取り上げられるたびに気になりますが、免許を返納してしまうと時間もお金もかかり、たちまち生活



Sさん(82才男性)

元 エンジニア

妻との二人暮らし

自分の時間

- はたけ・庭しごと

家族の時間

- 妻の送迎

まちの時間

- 郷土史研究

が成り立ちません。まだまだ免許は手放せないと感じる今日この頃です。



折り合いをつける

自分や家族を取り巻くその時その時の状況と折り合いをつけ、時間の使い方を変えていく。

頑張りすぎない

疲れたら休む。楽しくなければやめる。

くさつがわ家とお隣さん ～これって、みんなの問題～

かれこれ40年の「ふれあいタウン」。
どこにでもあるようなこの町で、今日も繰り返される
今ドキご近所のちょっとこなれた毎日。
楽しくも少し考えてしまう。
もしかして…これって、みんなの問題かも。



そうじゃった

こみ平おじいちゃん、なかなかやりますねえ。もちろん、自分の備忘のためでしょうが、茶の間のカレンダーに記したことで家族みんながこみ平さんの予定を共有していたようです。これぞ、究極の備忘かも知れません。記憶力に不安を覚えたら試してみたいはかがでしょう。今では家族や友だちでスケジュールを共有する便利なアプリもあるようです。

さて、こみ平さんは忙しい毎日を送っているようです。定年後の時間を自分らしく有意義に、そして充実した生活を送るのに、「きょういく」「きょうよう」「ちょきん」が必要と言われるようになりました。もちろん教育・教養・貯金ではなく「今日、行く所」「今日する用(事)」「筋力を蓄えること」の略語なんだとか。そういう意味ではこみ平さんは理想の生活なのかもしれません。

複雑な今の時代、人生もいろいろです。もう少し働く必要があったり、子育てが一段落したと思ったら親の介護が始まった、なんてこともあるでしょう。そういった人生の様々な事情とも折り合いをつけながら、その時々で柔軟にバランスをとっていききたいものです。趣味や学び、自身の通院などに費やす「自分の時間」。仕事、親の介護や孫の世話、連れ合いの送迎や家の手入れに費やす「家族の時間」。町内活動やボランティアなどに費やす「まちの時間」。ポイントはムリのない範囲でバランスを保つこと。また毎日、毎週、毎月…と定期的な用事があると、生活のリズムにもなります。

たとえ会社を退職しても、社会に定年はないのですから。今から少しずつでも始めたいものですね。

これってやっぱり、みんなの問題。



さく・com-com / え・まんじゅう

読売新聞

今こそ新聞を読む

読売センター草津西 / 有限会社 雄

〒525-0029 滋賀県草津市下笠町 1306-2 TEL:077-568-1165 FAX:077-568-3205

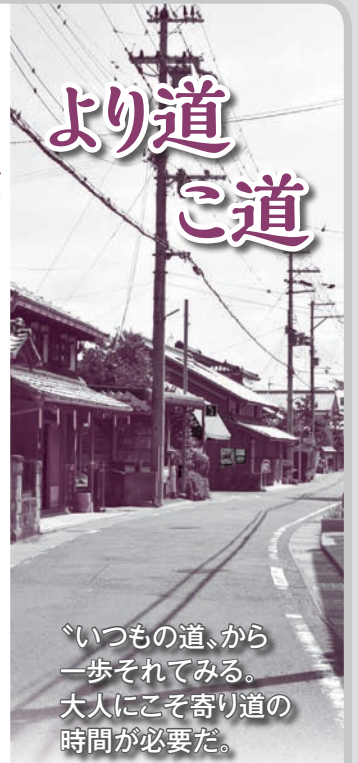
ホームページは、[読売センター草津西](#)で検索! または、今すぐ右のQRコードにアクセス!

SUMAI

スマイ印刷は、
自然環境を守る地球に優しい
製品づくり「エコ印刷」に
取り組んでいます。

株式会社スマイ印刷 sumaiprint.com

本社:520-3014 滋賀県栗東市川辺568-2 p:077-552-1045 f:077-552-0890
東京オフィス:103-0027 東京都中央区日本橋3-2-14 日本橋KNビル4階 p:03-5201-3525
甲賀水口ファクトリーPF1:528-0068 滋賀県甲賀市水口町ひのきが丘36-6 p:0748-63-1045



より道 こ道

「いつもの道、から
一歩それてみる。
大人にこそ寄り道の
時間が必要だ。」

第18回 ● 鞭寄八幡宮から矢橋港跡

石田はま子

矢橋は令和の元号で話題になつた日本最古の歌集『万葉集』にも出てくる、市内で唯一詠まれた有名な地です。江戸時代には、「瀬田へ回れば三里の回り」とされ矢橋の舟にのろ」と語られました。今回は、矢橋港跡まで矢橋道を歩きます。

うつそうとした森に囲まれた矢橋の氏神、鞭寄八幡宮は、源頼朝が上洛途中、鞭で森を指し、祭神をたずねたことに由来します。

鳥居をくぐると威厳ある門が出て迎えます。明治4年、膳所城取り壊しに際し移されたもので重要文化財にも指定されています。

矢橋道を挟んで神社向いの十王堂跡は、近松門左衛門『冥途の飛脚』のヒロイン「梅川」の終焉の地です。梅川は、恋しい忠兵衛の菩提を弔いつつ、この地で83歳の生涯を終えたと伝えられています。

梅川のお墓は浜街道「矢橋」の交差点から矢橋道を琵琶湖方面に歩き、路地を入った清浄寺にあります。毎年11月6日には「梅川忌」が営まれ、かつては人形浄瑠璃や近松門左衛門研究者も参拝されました。

矢橋の交差点に建つ「ふれあいの塔」と刻まれたモニュメント

は、明治29年の琵琶湖大洪水での水位(3.7m)がしるされ、水害の恐ろしさを今に伝えていきます。

古い街並みが残る矢橋道をさらに琵琶湖へと進むと矢橋港跡。港跡は昭和57年に発掘され、今は史跡公園になっています。公園前にそびえ立つイチョウ(市保護樹木)は、樹齢250年余り。当時は湖上からの目印だったとか。

江戸時代の名所図会で描かれたとおり、今でも3基の石積み突堤や常夜灯、護岸石垣が残っています。歌川広重の浮世絵「近江八景 矢橋帰帆」が描かれた案内板には、関ヶ原合戦後に家康の陣が矢橋から大津へ向かったことや、庶民の「お蔭参り(伊勢詣で)」でも賑わったことを伝えてくれます。松本(大津)の港から矢橋へと船が行き来した往時がしのばれますね。

公園でキャッチボールする小学生を見つけました。「昔はこまで琵琶湖だったんだよ」と言う「知ってるよ」と誇らしげに返してくれました。地域の歴史が子どもたちに、またその次の世代に伝わっていくことを願って、矢橋港跡をあとにしました。



ひとりで悩まないで！まずはお電話を！
くらしサポートセンターしが草津がお手伝いします



くらしサポートセンターしが草津
くらし何でも相談
TEL:077-564-5512

住所：草津市大路1丁目1-1 TEL:932 4F 4 0 6

センターへの相談は無料です。

- くらしサポートセンターしが TEL: 077-522-4600
- くらしサポートセンターしが大津 TEL: 077-572-7720
- くらしサポートセンターしが彦根 TEL: 0749-27-3500
- くらしサポートセンターしが近江八幡 TEL: 0748-37-5522



株式会社 三井田商事

経営理念 迅速・確実・親切

弊社は2019年度からSDGsへの取組をスタートさせ、それを基盤にして社会貢献を通じて地域から愛される企業に成長していきます。清掃活動等で弊社社員は地域の皆様に大きな声で挨拶をします。

また、弊社は55周年を迎え、改めて今後も永続的に地域の皆様と共に成長していきたいと考えております。

滋賀営業所 / 〒525-0050 滋賀県草津市南草津2丁目7-16
TEL:077-598-1611 FAX:077-598-1651

新しくなった

ひとまちキラリ 活動助成

あなたの一步、応援宣言。

初めてのチャレンジ「はじめの」いっぽと、
ステップアップの「そのさき」いっぽ。
2つの助成で皆さんの活動を応援します。

募集 9月20日(金)～10月31日(木) 必着

- “はじめの”いっぽ 上限3団体(1年目 5万円 2年目 10万円)
- “そのさき”いっぽ 上限3団体(1年間 20万円)

提案方法 提案書は市内の公共施設に
備え付けているほか、HPから
ダウンロードできます。



第20回 明日につなぐ！交流の輪

パワフル交流・市民の日

FINAL

11月30日(土) 10:00～15:00

市立まちづくりセンター(西大路町)

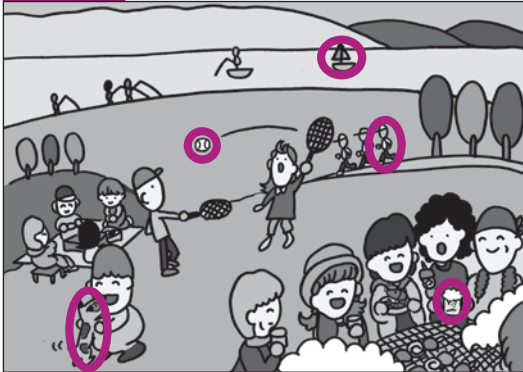
講演会 そうだったんだ草津の魅力

八杉淳氏(草津宿街道交流館館長)

パネル展示・体験コーナー・ステージ など

市民活動の魅力を楽しく伝えます。お気軽にお越しください。

前回の答え たくさんのご応募ありがとうございました。



※ご応募いただいた内容は、プレゼントの発送および今後の誌面
づくりに活用し、それ以外の目的で個人情報を使用することは
ありません。

問合せ ひとまちキラリ・パワフル交流ともに

(公財)草津市コミュニティ事業団 まちづくり振興課

草津市西大路町9番6号 ☎565-0477 ☎562-9340

HP <http://kusatsu-spp.net>

Jazz Festival in CREA

10月6日(日) 13:00～(ウェルカム演奏 12:00～)

草津クレアホール

出演 サウンドフリーク 立命館大学JAZZ CLUB 他

問合せ 草津アートセンター(草津クレアホール内) ☎561-6100

無料

まち語り 一枚の写真



まちのあらゆる場面で培われてきたコミュニティの形。
その一瞬を捉えた一枚の写真から“これから”のコミュ
ニティを見つめます。

中山道沿いの伊砂砂神社(渋川)では毎年9月13日の灯明祭の際に「花踊り」が奉納されます。「渋川の花踊り」は、中世末期から近世初期にかけて流行した「風流踊り」の一種で、伊砂砂神社創建の翌年にあたる応仁3年(1468)の雨乞いに対するお礼踊りが起源とされています。

花踊りは、音頭取り(数名)・シンボウウチ(2名)・太鼓打ち(2名)・踊り手(多数)で構成されます。太鼓打ちは踊りの中心の役で締め太鼓を体に括り付け、飛び上がりながら太鼓を打ちます。シンボウウチは、太鼓打ちと同じ服装で軍配を持っています。太鼓打ちとシンボウウチは2人一組で、踊りの輪の中心で踊り、その周囲を他の踊り手が取り囲みます。

写真は昭和62年(1987)の様子です。中心に提灯が立てられ、そばでマイクを構えているのが音頭取りです。右側には派手な花笠を被ったシンボウウチと、太鼓打ちの姿も見えます。境内は花踊りを見に来た地元の人でにぎわっています。

現在まで「渋川の花踊り」が守り伝えられてきた背景には、地元の人々の保存活動があります。花踊りは明治時代までは雨乞いのお礼として踊られてきましたが、大正時代になると、踊りを継承していくため現在のように恒例行事として毎年踊るようになったとされています。その後、平成2年(1990)に草津市指定無形民俗文化財に指定、平成7年(1995)には滋賀県選定無形民俗文化財に選定されました。

「渋川の花踊り」は現在も、渋川花踊り保存会と地域の人々により、渋川の伝統として大切に守り伝えられています。

伊砂砂神社 渋川の花踊り



見つけ ズキリ!



草津の静かな夜のまつり「草津街あかり・華あかり・夢あかり」。いつもの町並みや商店街、一つ路地を入ったお寺や神社がほのかな灯りで照らされ、昼間とはちがう表情を見せてくれます。秋の夜長、幻想的な草津路をお楽しみください。

下のイラストには上のイラストとちがう部分が5か所あります。ちがう部分を答えてね。

応募方法

ハガキに①答え②郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号③今号の感想 を添えて下記まで。
FAX、メールでのご応募お待ちしております。

※切 9月30日(月) 当日消印有効

宛先 〒525-0037 草津市西大路町9番6号
(公財)草津市コミュニティ事業団
「コミュニティくざつ9月号」係
☐ com-com@mx.biwa.ne.jp
☎ 562-9340

プレゼント

応募いただいた中から草津あおばな館内「ファーマーズカフェ愛彩NICOLAO」ご利用券(1,000円相当)を5名様にプレゼント。
(下笠町)



イラスト：大村恵(編集ボランティア)

草津街あかり・華あかり・夢あかり

11月1日(金)・2日(土) 18:00~21:00 草津駅東側商店街通り一帯(立木神社~伊砂砂神社) 草津川跡地公園de愛ひろば

クレア・アミカ 秋・冬の公演

9/21

Amica Weekend Concert
アマカウィークエンドコンサート 2019

武田可奈美・中村歌奈

ピアノ・オルガン *Duo* Kanami & Kana

9月21日(土) 14:00~ 草津アミカホール

出演 武田可奈美 中村歌奈

入場料 前売 1,000円 当日 1,500円

プログラム

- デュエット組曲 (ベダール)
- アヴェ・マリア (バッハ/グノー)
- オデオン (ナザレー)
- ハンガリー狂詩曲第2番 (リスト) 他



12/22

クレアホール開館
5周年記念事業

クリスマス
ファミリーコンサート

オーケストラで聴くジブリ音楽

12月22日(日) 15:00~ 草津クレアホール

出演 N響団友オーケストラ

木村弓 井上あずみ 本名陽子

入場料 前売 大人 3,500円 こども 2,000円

当日 大人 4,000円 こども 2,500円

託児あり

プログラム(予定)

- スタジオジブリのアニメ映画音楽
- 君をのせて (天空の城ラピュタ)
- いつも何度でも (千と千尋の神隠し)
- カントリー・ロード (耳をすませば)
- さんぽ (となりのトトロ) 他



問合せ 上記2公演とも 草津アートセンター(草津クレアホール内) ☎ 561-6100

熊谷栄三郎の 徒然草津 つれづれくさつ

第34回
どこへ行った
草津弁

熊谷栄三郎



言葉って、面白い。たとえば人間はモノゴトを考える時、頭の中でいつも、必ず言葉を利用していろいろな気がする。

などと、言葉の面白さについて考え始めると近頃の私は、ふと草津弁のことに思いをめぐらすようになった。

三、四十年前まであれだけ聞いていた草津弁を、近頃はほとんど耳にしなくなったのが気になるのだ。街で聞き耳をたててみても、人々、とくに若者は「だつてさ」「オレなんかさ」などと言っている。あれはいわば、ほぼ全国共通の「テレビ弁」ではないか。

今の草津の若者は、頭の中で草津弁でなくテレビ弁でモノを考えているらしい。テレビ弁で考えるのと草津弁で考えるのでは、考えの中身も違うのだろうか。

以前、草津の高齢婦人に聞いた話がある。彼女の親族にあたる草津の男性仲間たちが、昭和の初めに東京見物に行ったときのこと。汽車が東京駅に近づいたころ、仲間が弁当包みをぶら下げて、叫んだという。

「おい、腹減ったのう、カイバ食らおか」

カイバは飼葉。牛馬の餌にする葉っぱのことだ。昔は草津の農村部でもよく使った言葉だろう。でも人間の弁当の意味で使われるのを聞いて、東京の人は驚いたはずだ。

その、言葉で驚かす、ということこそ草津の青年らの狙いだったのかも。東京の連中が大いに驚いていたということを彼らは何年もの間、思い出している笑いだ。今、草津からはカイバという言葉も消えている。

言葉は流転する。とくに大きな街道を持つ草津などでは、その傾向が強いだろう。

幕末、草津宿本陣に泊まった新撰組の土方歳三らが置き忘れた煙管入れなどが先月、草津宿街道交流館で展示されたのを見に行った。当時の筆で「御失念物」と記した和紙が添えられていたというのが、気になって、である。「忘れ物」より上品に聞こえるこの言葉にひかれた。たとえば認知症なんて言葉より、失念の方がいいような。

読者の声

たくさんのご意見ありがとうございます。

6/15号「私、キックオフ宣言。」に寄せられた感想から

- パンチャビエーナの記事は故郷の醤油の味の違いに驚いた経験から企画が始まったとのこと。九州出身(九州は醤油が甘い)の私は共感とともに故郷を思い出し、故郷に残した母と電話するきっかけになりました。
- 消防士OBの記事が印象的でした。今までの職業で身につけたものを何かに活かしたいとの思いを行動に移される情報など、これからもいろいろなところで活躍を知りたい。
- 「暮らしに絵本」の澤村さんの活躍がすばらしいと思いました。わたしも何か本に関わってみたいという気持ちになりました。
- 漫画家の杉尾尚子さんの描いている絵が見てみたい。漫画をずっと続けていてステキな人生ですね。
- より道道を読み、自転車走ってみたい。狼川の民話を知って見方がより深まりました。
- 東京オリンピック聖火リレーの写真をつかしく見ました。当時16歳でした。
- 「徒然草津」が好き。よく通る込田や弾正が池だったなんてびっくり。次行くときは昔どんなだったかと想像しながら眺めてみます。

「コミュニティくさつ」は、 みんなでつくる まちづくり情報誌です!

市民編集ボランティア

「コミュニティくさつ」は市民の皆さんと共に作成発行しています。本誌の企画、取材、寄稿、配布などを一緒にしてもらえる市民編集ボランティアを募集しています。写真やイラストが得意な方も大歓迎。

- 編集会議(3か月に1回)で意見を出してくれる人
- 取材同行や寄稿をしてくれる人
- 写真やイラストを提供してくれる人
- 自身のサークルや団体メンバーに本誌を配布してくれる人



●申込み・問合せ●
(公財)草津市コミュニティ事業団
コミュニティくさつ編集部(まちづくり振興課内)

ポイント

施設を利用するみんなの声と笑顔をお届けします。

秋の夜長は



ロクハ公園

まちセン

ロクハ荘

アミカホール

クリアホール

「コミュニティくさつ」の経費(企画編集、印刷、折込など)は1部あたり15円です。この経費は事業団が行う公共施設運営管理(指定管理)などの経費縮減などで得る独自の収益金のほか草津市からの補助、市民の皆さんからの寄付および本誌に掲載している企業等の広告でまかっています。



コミュニティ
2019年9月
122号
9

編集 公益財団法人草津市コミュニティ事業団
〒525-0037 滋賀県草津市西大路町9番6号(まちづくりセンター内)
発行 077-565-0477 077-562-9340
com.com@mx.biwane.jp http://kusatsu.or.jp

管理 まちづくりセンター
施設 草津クレストホール
運営 長寿の郷ロクハ荘
562-9240 564-5815 563-5021

【題字】中村明雄 【印刷】株式会社アライ印刷
564-3838
561-2345

